

みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker 導入手順書

2016年 3月 11日

本書の目的

本書は「みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker」の導入手順を説明するものです。

目次

1. みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker (エムアイチェッカー)	2
2. miChecker の導入	2
2.1 実行環境の確認	2
2.1.1 PC 環境の確認	2
2.1.2 Java 実行環境の確認・導入	2
2.2 miChecker のダウンロードと導入	4
2.3 miChecker の実行	6
(参考) 最新の miChecker の入手について	6

1. みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker (エムアイチェッカー)

「みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker」(以下、miChecker)は、JIS X 8341-3:2016 (高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ)に基づくウェブアクセシビリティ対応の取組を支援するために、総務省が開発し、提供するアクセシビリティ評価ツールです。本書は、miChecker の導入手順を紹介します。

2. miChecker の導入

2.1 実行環境の確認

2.1.1 PC 環境の確認

miChecker は、以下の環境で利用頂くことができます。

OS :	Windows 7, Windows 8.1, Windows 10
ブラウザ :	Internet Explorer 11
メモリ :	1GB 以上 (2GB 以上を推奨)
ハードディスク空き容量 :	250MB 以上
Java 実行環境 :	Java 32bit 版 Version 7 以上 (Version 8 を推奨)

2.1.2 Java 実行環境の確認・導入

miChecker を利用するためには Java 32bit 版 Version 7 以上の実行環境が必要です。対象の Java 実行環境がインストールされていない場合、Java 32bit 版 Version 7 以上のインストールを行います。

A) Java 実行環境の確認

コンピュータの環境によっては既に Java がインストールされている場合があります。まず、Java のインストール状況を確認します。Windows ログキーを押しながら R キーを押して「ファイル名を指定して実行」ダイアログを表示します。

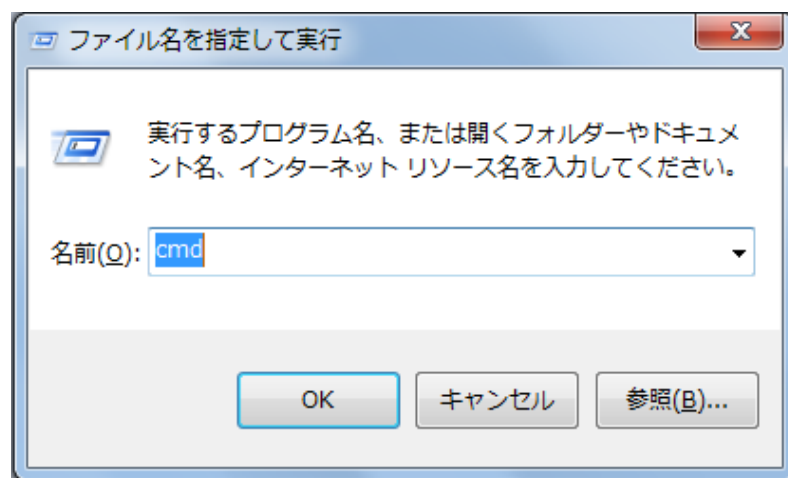


図 1. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログからコマンドプロンプトを起動する

「名前」と記載された入力欄に「cmd」と入力し、OK を選択するとコマンドプロンプトが表示されます。コマンドプロンプトに次のように入力し「ENTER キー」を押してください。

```
java -version
```

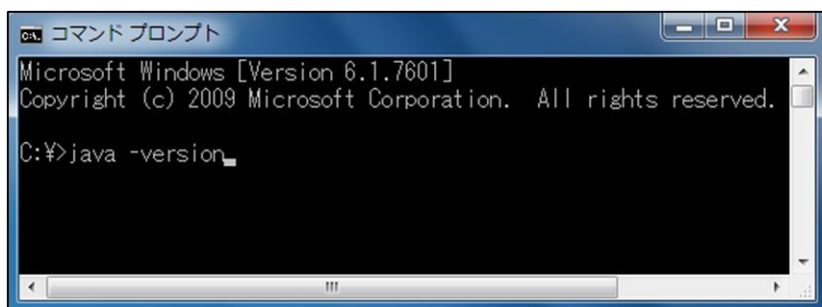


図 2. Java がインストールされているかを確認

Java がインストールされていない場合には次のようなメッセージが表示されます。

```
'java' は、内部コマンドまたは外部コマンド、操作可能なプログラムまたはバッチ  
ファイルとして認識されていません。
```

Java がインストールされている場合には次のような表示が出ます(表示は Java のバージョンなどにより異なります)。

```
version "1.8.0_65"  
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_65-b17)  
Java HotSpot(TM) Client VM (build 25.65-b01, mixed mode)
```

「version」欄が、「1.7」もしくは「1.8」で始まっている場合、それぞれ Java の Version が「7」もしくは「8」であることを意味しています。Java Version 7 以上が導入されていることが確認できた場合には、2.2 節の「miChecker のダウンロードと導入」に進みます。

B) Java 実行環境の導入

A) の手順で対象の Java 実行環境がインストールされていないことが確認された場合、Java 実行環境のインストールを行ってください。以下に Oracle 社の提供する Java 実行環境のダウンロードと導入手順が示されたウェブページを紹介します。下記ページ内の導入手順に沿って Java 実行環境のインストールを行ってください。

```
Java ダウンロードとインストール手順のサイト  
( https://www.java.com/ja/download/help/windows\_manual\_download.xml#download )
```

2.2 miChecker のダウンロードと導入

miChecker は、総務省のウェブサイトで公開されている圧縮ファイルをダウンロードし、展開することで使用できます。以下では、Windows 7 の環境の場合を例に、ダウンロードと導入の手順を説明します。

- A) 総務省が提供する miChecker のダウンロードページ（下記）にアクセスし、miChecker ダウンロードのためのリンクをクリックしてください。（検索サイトを開き、「miChecker」のキーワードで検索することでも miChecker のダウンロードページに移動することが出来ます。）

miChecker ダウンロードページ：

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html

3.miCheckerのダウンロード

総務省は、アクセシブルなウェブの普及を目的としてmiCheckerを無償公開しています。法令や公序良俗に違反しない様、留意の上でmiCheckerをご利用ください。なお、miCheckerに関する権利および免責事項などについては、miCheckerに付属の「3_利用条件.pdf」をご参照ください。

以下のリンクをクリックすると、ダウンロードが開始されます。

[miChecker_v2\(zip形式圧縮ファイル、約51MB\)](#)

（同時にダウンロードできる人数に制約があります。もしダウンロードがうまくいかない場合は、しばらく時間を置いてから再度ダウンロードしてみてください。）

- B) 「ファイルのダウンロード」のダイアログが表示されたら、【名前を付けて保存(A)】または【保存(S)】を選択してください。「名前をつけて保存」のダイアログが表示されたら、ファイルを保存する先を指定して、再度【保存(S)】を実行してください。



図 3. miChecker のダウンロードファイルを保存する

- C) ダウンロードした zip ファイルを選択し、右クリック（もしくは Shift+F10）で表示したメニューから【すべて展開 (T) ...】を選択し「展開ウィザード」を開始してください。
（注： ダウンロードしたファイルをダブルクリックするのではなく、必ずメニューを用いるようにしてください。）
- D) 「圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開」ダイアログが表示されたら、miChecker を保存するフォルダを指定して【展開 (E)】を選択してください。

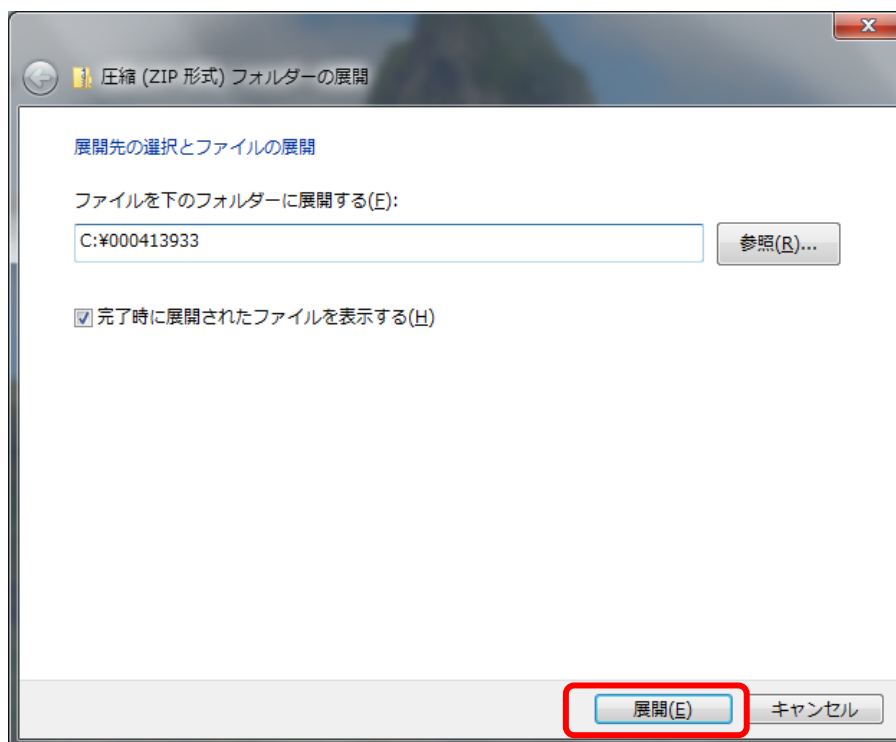
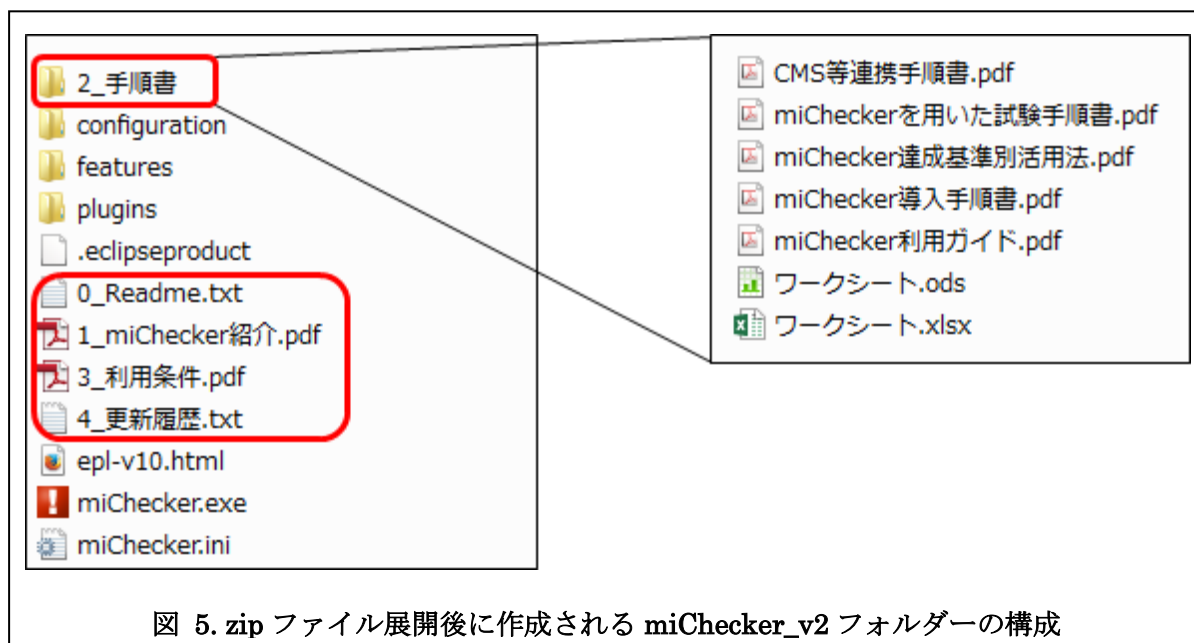


図 4. 圧縮フォルダを展開

E) 展開が終了したら、展開先に「miChecker_v2」というフォルダーが作成されたことを確認してください。「miChecker_v2」フォルダー内には、miCheckerの概要説明、利用条件などをまとめた「0_Readme.txt」、「1_miChecker紹介.pdf」、「3_利用条件.pdf」、「4_更新履歴.txt」の4つの文書があります。また、「2_手順書」フォルダーには「miChecker利用ガイド」、「miCheckerを用いた試験手順書」、「miChecker達成基準別活用法」、「ワークシート」、「CMS等連携手順書」の各文書が収められています。miChecker本体は「miChecker.exe」という実行ファイルです。

(注： OSの設定によっては拡張子が表示されない場合があります)



2.3 miChecker の実行

以上で miChecker の導入は完了です。miChecker を実行する際は、miChecker が展開されたフォルダの中にある miChecker を実行します。(注： OS の設定によっては、「miChecker.exe」と拡張子と共に表示されています。)



「miChecker 利用ガイド」などの付属文書を参照しながら miChecker をご活用ください。

(参考) 最新の miChecker の入手について

JIS X 8341-3:2016 関連文書の更新や miChecker の機能拡張などに伴って、miChecker が更新される場合があります。総務省ホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/b_free02.html) にアクセスし、最新の miChecker を入手するようにしてください。